

2 事業の必要性・緊急性

- 基幹施設である江尻排水機場は、前歴事業である「国営かんがい排水事業 角田地区」により整備した。
- 令和元年東日本台風の際にフル稼働したものの、地区の農地306haと土地改良施設（用排水機場、用排水路、ため池）568か所が被災し、農業被害額は26億円に達した。
- 市街地では3,975 世帯が浸水し、甚大な被害が発生した。
- 豪雨時の排水対策として排水系統の見直しや基幹施設の能力強化など抜本的な整備が地元から要望されている。

新排水機場のイメージパース

